

新たな感染症の危機に備える練馬区行動計画（練馬区新型インフルエンザ等対策行動計画）【令和7年度改定（素案）】に寄せられた意見と区の考え方について

## 1 意見の受付状況

### (1) 意見募集期間

令和7年12月11日から令和8年1月15日まで

### (2) 周知方法

ア ねりま区報（令和7年12月11日号）への掲載

イ 区ホームページへの掲載

ウ 区民情報ひろば、区民事務所（練馬を除く）、図書館（南大泉図書館分室を除く）、危機管理課、保健予防課での閲覧

エ 区立小中学生用タブレットパソコンの「ブックマーク」で閲覧、児童館での閲覧

オ 練馬区新型インフルエンザ等感染症対策ネットワーク会議に計画素案について個別説明

### (3) 意見件数

200件（184名）

うち子どもからの意見は187件（177名）

## 2 寄せられた意見の内訳（）内の数値は子どもからの意見数

分類	件数
第1部 基本的な考え方	44 (41)
第2部 各対策項目の考え方および取組	
第1章 実施体制	2 (2)
第2章 情報収集・分析	0 (0)
第3章 サーベイランス	0 (0)
第4章 情報提供・共有、リスクコミュニケーション	7 (7)
第5章 水際対策	7 (7)
第6章 まん延防止	70 (69)
第7章 ワクチン	26 (23)
第8章 医療	6 (6)
第9章 治療薬・治療法	7 (5)
第10章 検査	2 (1)

	第11章 保健	0 (0)
	第12章 物資	0 (0)
	第13章 区民生活および区民経済の安定の確保	19 (16)
第3部 区の危機管理体制		
その他		10 (10)
合計		200 (187)

### 3 意見に対する対応状況

区分	内容	件数
◎	意見の趣旨を踏まえ計画に反映するもの	2 (2)
○	素案に趣旨を掲載しているもの	147 (139)
□	素案に記載はないが事業等において既に実施しているもの	10 (8)
△	事業等を実施する際に検討するもの	10 (10)
※	趣旨を反映できないもの	3 (0)
—	その他、上記以外のもの	28 (28)
合計		200 (187)

#### 4 区民からの意見（要旨）と区の考え方

No.	意見の要旨	区の考え方	対応区分
第1部 基本的な考え方			
1	<p>コロナ禍において「感染拡大の防止と医療提供体制の充実」「区民・事業者の支援」「社会インフラの維持」の区施策の結果を、検証してほしい。</p>	<p>区は、令和5年9月に新型コロナウイルス感染症の発生から、感染症法上の位置づけが、季節性インフルエンザと同じ「5類感染症」に引き下げられるまでの3年間にわたる対応を、今後、新たな感染症が発生した際に、その対策の充実・強化の参考となるよう、記録誌「練馬区モデルの展開」として取りまとめました。引き続き、感染症危機に対する平時の備えに万全を期すとともに、有事には、感染症の特徴や科学的知見を踏まえ、迅速かつ着実に必要な対策を実施していきます。</p>	○
2	<p>コロナの際は様々な犠牲が出てしまった。住民を過剰に不安にさせる政策はよくない。 (他同意見1件)</p>	<p>区は、新型コロナウイルス感染症の拡大といった感染症危機において、国・都・近隣自治体と連携し、専門家の知見も活用しながら、「感染拡大の防止と医療提供体制の充実」、「区民・事業者等への支援」、「社会インフラの確保」など緊急に取り組むべき対策を実行するなど、区民一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな支援を実施しました。なかでも、練馬区医師会の協力を得て、国と連携して構築した、新型コロナウイルスワクチン接種体制「練馬区モデル」は、厚生労働省により、先進事例として全国自治体に紹介され、多くの自治体で採用されました。</p>	○

		<p>感染症危機に対する平時の備えに万全を期すとともに、有事には、感染症の特徴や科学的知見を踏まえ、感染拡大防止と社会経済活動のバランスを踏まえた必要な対策を迅速かつ着実に実施していきます。また、感染症対策への区民等の理解を深め、適切な行動につながるよう、正確な情報を迅速に分かりやすく提供・共有していきます。</p>	
第2部 各対策項目の考え方および取組			
第6章 まん延防止			
3	<p>図書館における感染防止対策を徹底してほしい。</p>	<p>区は、計画に基づき、今後も、多数の方が集まる施設等において、感染症発生時には、国や都の方針、ガイドライン等を踏まえつつ、感染症の特徴や科学的知見、また施設状況等に応じて、まん延防止のための必要な感染症対策を実施していきます。</p>	○
第7章 ワクチン			
4	<p>ワクチンやマスクの考え方など日本の感染症対策について、海外の状況等も踏まえて検証すべきである。過度な対策ではなく、感染症に強い健康な身体づくりが重要となる。</p>	<p>区は、感染症危機に対する平時の備えに万全を期すとともに、有事には、感染症の特徴や科学的知見を踏まえ、感染拡大防止と社会経済活動のバランスを踏まえた必要な対策を迅速かつ着実に実施していきます。</p> <p>また、平時から区民の皆様に、発生時に取るべき行動やその対策に関する知識等について周知するとともに、健康づくりを重視し、運動習慣の定着など感染症に強い身体づくりを引き続き支援していきます。</p>	○

5	<p>ワクチンは効果がなく、むしろ害があるといった考え方もある。また、このような施策に費用をかけることは無駄である。</p>	<p>ワクチンには感染症による死亡や重症化を抑える効果が国内外で確認されており、公衆衛生上重要な対策の一つです。今後も、感染症の特徴や科学的知見を踏まえ、迅速かつ着実に必要な対策を実施していきます。</p>	※
6	<p>コロナワクチン接種後に、後遺症や死亡とされるケースが報告されている。</p>	<p>区は、ワクチンの有効性・安全性情報、接種後の副反応等の予防接種に係る情報について区民への周知・共有を行います。接種後、まれに副反応等が発生することがありますが、国は救済制度を設けており、区は、区ホームページで制度や相談窓口を案内するなど、法令に基づき適正に手続きを進めています。今後も、正確な情報発信をしていきます。</p>	○
<p>第9章 治療薬・治療法</p>			
7	<p>抗インフルエンザ薬以外の医薬品確保を検討し、区職員・医療従事者等を守る必要がある。また、経験を踏まえ、柔軟に対応していくべきである。あわせて、現在の区備蓄薬の用途について確認したい。</p>	<p>抗インフルエンザ薬に限定せず、国や都が示す新たな治療薬・予防薬を迅速に活用できる体制を整えることが重要です。計画では、新規治療薬・治療法への対応を国や都の方針に基づき柔軟に対応することとしております。</p> <p>また、区職員・医療従事者等については、国が定める特定接種制度等に基づき、必要な人材を優先的に保護する仕組みが構築されています。</p> <p>さらに、新型コロナ対応で得た知見（治療法の変化、医療・搬送体制の柔軟な運用等）を踏まえ、感染状況に応じた臨機応変な対策を計画に反映しています。</p> <p>現在、区では、抗インフルエンザ薬について、国や都の備蓄による予防投</p>	○

		<p>与を補完する形で必要に応じて使用するものとして備蓄しています。</p> <p>今後も、国や都の最新の知見や制度に基づき、柔軟で効果的な支援体制の整備に努めてまいります。</p>	
8	<p>抗体カクテル療法の実施に際し、保健所が患者の搬送と帰宅支援を行うことで、感染者が他者と接触せずに治療を受けられる体制が整備され、感染拡大防止に有効であった。経験を踏まえ、柔軟な治療提供ができるよう、自治体による支援体制（搬送支援等）を引き続き確保すべきである。</p>	<p>新型コロナ対応で行われた抗体カクテル療法における医療機関への搬送支援は、感染拡大防止と適切な医療提供の両面で有効な取り組みでした。計画においても、国や都の方針に基づき、新たな治療薬や治療法に迅速に対応できる医療体制の確保や、患者搬送を含む支援体制の整備を位置付けています。今後も状況に応じて適切な治療が実施できるよう、引き続き柔軟な支援体制の構築に努めていきます。</p>	○
第10章 検査			
9	<p>PCR検査の体制を強化しても意味がない。</p>	<p>PCR検査などの感染症の検査は、感染者を早期に発見し、適切な療養に繋げ、感染拡大を防止する重要な役割があります。計画では、科学的妥当性が担保された適切な検査方法を選択することとしています。また、検査結果だけに依存せず、症状や疫学情報をあわせて総合的に判断する方針を示しています。区は、引き続き、科学的知見を踏まえ、適切な検査体制の運用と正確な情報提供に努めていきます。</p>	※

第13章 区民生活および区民経済の安定の確保

10	<p>保育園等への登園許可証は、繁忙期の医療機関の負担を増やすだけでなく、完治して登園等した際に、感染症にかかっていたことが周りに知られてしまうことになるので、見直してほしい。</p>	<p>区立保育園の登園許可証は、こども家庭庁「保育所における感染症対策ガイドライン」を踏まえ、区医師会および区保健所と協議のうえ、運用方法を決定しています。</p> <p>保育施設は、抵抗力が弱く、身体の機能が未熟な乳幼児が集団で生活する場です。区では、園児によって症状や回復具合が異なるため、再診にて集団生活が可能か状態を確認していただくこと、また、既往症や合併症のリスク等も園児によって異なることから、園内での感染対策として提出をお願いします。ご理解ご協力いただきますよう、お願いいたします。</p>	※
11	<p>小学校における学年閉鎖のタイミングや判断基準が不適切と感じる。</p>	<p>区では学級内の欠席率が20%以上になった場合、学級閉鎖を検討することとしています。引き続き、感染拡大を防止するため、校内や地域の感染状況、授業状況等を勘案し、対応していきます。</p>	□
12	<p>過剰な感染症対策で学ぶ機会がなくなった子どもたちの心理的負担を検証してください。未来の子どもたちのために検証をお願いします。</p>	<p>国が毎年実施している「全国学力・学習状況調査」や「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では、子供たちの心理面に関わる質問調査を実施しています。本調査結果から、コロナ禍を契機に、学ぶ意欲や体力が低下したことなどから、区では、毎年、結果を分析し、各学校における授業改善や支援のあり方の検討等を進めています。</p>	□

5 区民からの意見（まとめ）と区の考え方（子どもからの意見）

No.	意見のまとめ	区の考え方	対応 区分
<p>第1部 基本的な考え方</p>			
1	<p>新たな感染症が 発生した際、すぐ 対処できるよう、 コロナ対策を踏ま え、計画を立て、 多くの人に伝えら れるとよい。 (他同意見 32件)</p>	<p>新型コロナで対応した経験をもとに、 すばやくかつ着実に感染症対策を実施 できるよう行動計画を策定します。 計画の内容などについては、区民の 皆様に感染防止対策を広く理解してもら い、正しく行動してもらえるよう、わか りやすく伝えていきます。</p>	○
2	<p>インフルエンザ やいろいろな病気に しっかり備えて、 安心して暮らせる ようにしてほしい。 (他同意見 6件)</p>	<p>この計画では、国や都、病院など 様々な人と協力して、医療体制や物資 の備え、必要な情報の提供など、病 気が広がらないように取り組むこととして います。今後も子どもから高齢者まで、 区民の皆様が安心して生活できる練馬区 を目指していきます。</p>	○
3	<p>区の具体的な 対策があまりない と考えた。</p>	<p>この行動計画は、新しい感染症が広 がったときに、区が住民を守るために どのように行動するのかをまとめたもの です。計画には新型コロナの際に行った 取組なども記載しています。区は、この 他に感染症予防計画（保健所のことな ど）、健康危機対処計画（感染対策を 実行する手順など）などを作っており、 具体的な対応をまとめています。 今後、感染症が流行しそうな時は、 この行動計画や他の計画と一緒に実行し て対応します。</p>	○

だいぶ かくたいさくこうもく かんが かた とりくみ 第2部 各対策項目の考え方および取組			
だいしょう じっしたいせい 第1章 実施体制			
4	ほか じちたい きょう 他の自治体と共 ゆう 有する。	けいかく せっしゅ じたくりょうよう 計画では、ワクチン接種や自宅療養 をおこな かと しえん おこな を行う方の支援などを行うため、都や びょういん れんけい 病院などとしっかりと連携します。	○
5	かんみん きょうりやく 官民での協 力をどのよう にしていくか が一番大事 だと思 う。	かんけいき かん ひごろ じょうほうきょうゆう 関係機関と日頃から情報共有し、 れんけいたいせい きょうか 連携体制を強化していきます。	
だいしょう じょうほうていきょう きょうゆう 第4章 情報提供・共有、リスクコミュニケーション			
6	かんせんしょう ひろ 感染症が広 がらないよう に、ワクチ ン接種やマ スクの着用 、手洗いや 消毒の大 切さを、ポ スターやス ピーカーな どで分か りやすく知 らせてほ しい。 びょうき ひろ まえ 病気が広 がる前 からみんな が知って 気をつけ られるよ うな取組 が必要だ と思 う。 (ほかどういけん けん 4件)	く かんせんしょうよぼう くほう ぐ 区は、感染症予防のため、区報や区 ホームページなどを使 って、マスク、手洗 い、消毒、ワクチン 接種の大 切さを、わ かりやす く伝え、 みんな で病気が 広がら ない行 動がで きるよ うにし ていま す。 これか らも、 いろ いろ ほう ほう し 色々な 方法 でお 知 らせ を し て、 み ん な が あ ん し ん と く ら せ る よ う と り く ん で い き ま す。	○
7	がっこう すばやく 学校などに素 早く伝 える。	く かんせんしょう きき お とき おお 区は、感染症危機が起 きた時 は、多 くの 人 が あ つ ま る が っ こ う こ う れ い し ゃ し せ つ に お け る かん せん しょう たい さく な ど の じ ょう ほう せ い か く を、 正 確 に す ば や く 、 わ か り や す く 伝 え ま す。	○

8	<p>感染拡大防止の      取組やワクチン      接種など、感染症      流行時、ホームペ      ージを見れば少し      は楽になると思      う。</p>	<p>区は、感染症危機が起きたときは、      ワクチン接種や、自宅療養をしている      方の支援などの情報を、区ホームペ      ージやSNSなどを使って、正確にすばや      く、わかりやすく伝えます。</p>	○
<p>第5章 水際対策</p>			
9	<p>海外から感染症      を入れないように      しているのがいい      と思った。空港な      どで対策をしてほ      しい。      (他同意見 5件)</p>	<p>空港や港では、国のきまりにもとづ      いて、体温を測ったり、特別な検査をし      たりすることがあります。これは来る人      を「入れないようにするため」ではな      く、病気が広がらないようにするため      に、大事なチェックをしています。区      は、こうした検査を行う国や都といっ      しょに、注意喚起をしていきます。</p>	○
10	<p>海外から入国し      てくる外国人に対      して、差別につな      がらないような      対応や周知をして      ほしい。</p>	<p>計画の基本的な考え方では、すべて      の人に対して、差別のないよう人権に      十分に配慮しながら、必要な検査や      入国制限などを行うこととしていま      す。また、差別や誤解につながらないよ      う正しい情報を区民の皆様に伝えてい      きます。      いただいたご意見をふまえ、水際対策      においても、人権に配慮した対応や啓発      の必要性について追記します。</p>	◎

第6章 まん延防止

<p>11</p>	<p>手洗い・うがい、咳エチケット、マスクの着用、換気、人との距離の確保や消毒など、みんなが協力して日常生活でできる対策をするべきだと思います。</p> <p>(他同意見 45件)</p>	<p>感染症を広げないためには、手洗い・うがい、咳エチケット、マスクの着用、換気、人との距離の確保や消毒といった基本的な感染対策を一人一人が日常生活の中で意識して行うことが大切です。みんなに協力してもらいながら、安心して生活できる環境づくりに取り組んでいきます。</p>	<p>○</p>
<p>12</p>	<p>学校にいる時間を短くする(6時間授業をなくすなど)。</p> <p>(他同意見 2件)</p>	<p>感染症によるお休みが増えた時には、午後の授業や部活動を中止するなど、早く帰るための対応をとります。また、感染が広がることを防ぐため、学級閉鎖などの対応をとります。</p>	<p>□</p>
<p>13</p>	<p>感染症をみんなにうつさないために、風邪になりそうだったら家で休むべき。</p> <p>(他同意見 1件)</p>	<p>体調が悪いときに無理に登校する必要はありません。感染症を広げないためにも家でゆっくり休み、体調が悪化したときには、すぐに病院で治療を受けてください。</p>	<p>—</p>
<p>14</p>	<p>感染対策のために、教室でマスクをしたり、加湿をするなどの対策をするべき。</p> <p>(他同意見 2件)</p>	<p>現在、学校では感染対策として、こまめに換気をしています。乾燥を防ぐには、マスクをしたり、水を飲んだり、うがいをしたりすると効果的です。今後も感染症の特徴や科学的知見を踏まえて安心して生活できる環境づくりに取り組んでいきます。</p>	<p>□</p>

15	<p>空気清浄機<small>くうきせいじょうき</small>を 設置<small>せっち</small>して欲しい。 (他同意見<small>ほかどういけん</small> 2件)<small>けん</small></p>	<p>感染症<small>かんせんしょう</small>を防ぐためには、手洗い・咳<small>せき</small> エチケット・適度<small>てきど</small>な換気<small>かんき</small>、体調<small>たいちょう</small>が悪い ときに無理<small>むり</small>をしないことなど、みんなが 日常<small>にちじょう</small>の中で気<small>き</small>をつけられる行動<small>こうどう</small>がとて も大切<small>たいせつ</small>です。 感染症<small>かんせんしょう</small>の特徴<small>とくちょう</small>や科学的知見<small>かがくてきちけん</small>を踏まえ て学校<small>がっこう</small>や施設<small>しせつ</small>ごとに判断<small>はんだん</small>していくなど、 これからも、みんなが安心<small>あんしん</small>して過ごせる よう、必要<small>ひつよう</small>な対策<small>たいさく</small>を続け<small>つづ</small>ていきます。</p>	△
16	<p>インフルエンザ をなくすために、 施設<small>しせつ</small>などに消毒液<small>しょうどくえき</small> を設置<small>せっち</small>してほし い。 (他同意見<small>ほかどういけん</small> 1件)<small>けん</small></p>	<p>インフルエンザは手洗い・咳エチケッ ト・体調<small>たいちょう</small>が悪いときに無理<small>むり</small>をしないこ となど、日ごろの行動<small>こうどう</small>でもしっかり予防 することができます。 区としては、必要<small>ひつよう</small>な場所<small>ばしょ</small>には消毒液<small>しょうどくえき</small> を置きつつ、みんなが続け<small>つづ</small>やすい予防<small>よぼう</small>の 方法<small>ほうほう</small>を大切<small>たいせつ</small>にして、広く取り組<small>と</small>んでいき たいと考えています。 これからも、みんなが安全<small>あんぜん</small>に過ごせる ように工夫<small>くふう</small>を続け<small>つづ</small>ていきます。</p>	○
17	<p>区域外<small>くいきがい</small>からの 感染者<small>かんせんしゃ</small>が入<small>はい</small>ってき た場合<small>ばあい</small>の対応<small>たいおう</small>はど うなっているの か。</p>	<p>計画<small>けいかく</small>では、感染状況<small>かんせんじょうきょう</small>や地域<small>ちいき</small>の実情<small>じつじょう</small> に応じて、外出自粛<small>がいしゅつじしゆく</small>や都道府県間<small>とどうふけんかん</small>の 移動自粛<small>いどうじしゆく</small>のお願い<small>ねが</small>をすることとしていま す。また、お住いの場所<small>すま</small>に限らず、区内<small>かぎ</small> で感染者<small>かんせんしゃ</small>が発生<small>はっせい</small>した際は、国<small>くに</small>、都<small>と</small>、 病院<small>びょういん</small>などと協力<small>きょうりよく</small>して治療<small>ちりょう</small>の案内<small>あんない</small>や 感染拡大防止<small>かんせんかくだいぼうし</small>の対策<small>たいさく</small>をとることとしてい ます。</p>	○

18	<p>木を増やして 有害な空気を吸い 込んでもらう。 (他同意見 1件)</p>	<p>感染症の広がりを防ぐためには、 手洗い、マスク、体調管理などのほかに、みんなが過ごす場所の環境をよくすることも大切です。 区は、まちの木を大切にするために、大きな木を守ったり、公園の木を育てたりしています。木のお手入れを助けたり、自然を守る団体といっしょに活動したりして、みどりがいっぱいのもちづくりを進めています。</p>	—
19	<p>全学年が集まる 集会のときは必ず 換気をするのが よいと思う。</p>	<p>感染症を予防する方法として換気をすることは大切です。夏の暑い時期や冬の寒い時期は、教室や体育館などの気温を確認しながら換気をします。</p>	□
20	<p>コロナは怖いウイルスだとわかった。</p>	<p>国や自治体では、みんなが安心してく らせるように、コロナや新しいイン フルエンザについて調べたり、うつらない ようにする方法を考えたりしていま す。怖いなと思う気持ちはとても大切で す。でも、むやみに怖いと思うのではな く、正しいことを知ったうえで、手をし っかり洗ったり、体調が悪いときに 無理をせず休んだり、自分の体を守っ てください。 区は、これからもみんなが安心してく らせるように、大切な情報をわかりや すく伝えていきます。</p>	○
21	<p>感染拡大を防ぐ ため、感染症 流行時には、トイ レにあるハンドド ライヤーは 一時期、使用禁止 にするとよい。</p>	<p>感染症が広がり始めたときにハンド ドライヤーの使用を一時的に止めること は、状況によっては有効な対策になり ます。 新型コロナウイルスの流行初期にも、ウイル スが風で広がる心配があったため、多く の施設で使用が中止されました。その後</p>	△

		<p>けんきゅう かんせん おお の研究で感染リスクは大きくないとわ かり再開されました。</p> <p>こんご びょうき とくちょう おう 今後も病気の特徴などに応じて、</p> <p>ひつよう たいさく しゅうち おこな 必要な対策や周知を行っていきます。</p>	
22	<p>みせ せっち 店に設置してあ る透明の板を拭い たほうが良いと思 う。</p>	<p>ばん せき アクリル板は、咳やくしゃみがとんだ とき ほか ひと 時に、他の人にうつさないための仕切り として使われます。さわった手のばい菌 やウイルスがつくこともあるので、きれ いに拭くことも必要です。今後も、感染 ふ ひつよう こんご かんせん 対策に必要な情報を、わかりやすくお たいさく ひつよう じょうほう 知らせしてきます。</p>	—
23	<p>がっきゅうへいさ 学級閉鎖になっ ても他のクラス・ がくねん し 学年に、お知らせ がないことがあ る。</p>	<p>がっきゅうへいさ じょうほう じどう せいと 学級閉鎖の情報を児童・生徒のみな さんにお知らせすることについては、学 ごうない かんせんじょうきょう おう がっこう 校内の感染状況などに応じて、学校ご とに対応しています。今後も、必要な たいおう たいおう こんご ひつよう 情報を、わかりやすくお知らせしてい きます。</p>	—
24	<p>きょうせい マスクを強制さ れることが嫌で す。マスクをして いても減ることは ないのにどうして ですか。</p>	<p>かんせんしゅう よほう マスクをすることは、感染症を予防 するうえで効果があるとされています。</p> <p>きょうせい かんせん かくだい 強制ではありませんが、感染が拡大 しているときには、それ以上感染を広げ いじょうかんせん ひろ ないために、マスクをすることをお願い しています。</p>	○
25	<p>しんがた 新型コロナの とき 時、マスクやティ ッシュ、トイレッ トペーパーなどの か し お 買い占めが起こっ た。必要なもの ひつよう を、みんなが買え るようになると、 かんせんしゅう ふせ か 感染症を防げると おも 思う。</p>	<p>あらた かんせんしゅう ひろ 区では、新たな感染症が広がった ばあい 場合にそなえて、普段から区民一人ひと りがかてい かいしゃ りが家庭や会社などでマスクや消毒 やく た もの ひつよう ぶつし ようい 薬、食べ物など必要な物資を用意してい ただけるよう日頃からの備えについて きょうりょく ねが 協力をお願いしています。</p> <p>く かんせんしゅうはっせいじ また、区では、感染症発生時には、 せいかつ ひつよう か し 生活に必要なものの買い占めなどが起こ らないよう、くみん みなさま じぎょうしゃ 適切な行動をとっていただけるようお願い てきせつ こうどう いすることとしています。</p>	○

だい しょう  
第7章 ワクチン

<p>26</p>	<p>ちか びょういん 近くの病院や たいいくかん 体育館でワクチン を打てる「練馬区 モデル」というワ クチン接種のしく みが、とてもいい おも と思った。また、 かんせん ひろ まえ 感染が広がる前の はや せつしゅ てあら 早めの接種や手洗 いをしっかりする のがよいと思っ た。 ほかどういけん けん (他同意見 6件)</p>	<p>ちか びょういん たいいくかん せつしゅ 近くの病院や体育館でワクチン接種 ができる「練馬区モデル」について、良 いしくみだというご意見をいただき、 たいへん おも 大変うれしく思います。区では、できる だけ多くの人<sup>ひと</sup>が安心して早くワクチンを う 受けられるよう、みちか ばしよ せつしゅ 身近な場所で接種でき る体制づくりを引き続き進めていきま す。また、はや せつしゅ てあら たいせつ 早めの接種や手洗いが大切と いうご意見もそのとおりで、区でもしつ かり取り組んでいきます。</p>	<p>○</p>
<p>27</p>	<p>おお ひと びょうき 多くの人<sup>ひと</sup>が病気 にかからないよ う、もっと予防 せつしゅ う 接種を受けやすく してほしい。必要 おう ていきてき に応じて定期的に せつしゅ しく 接種できる仕組み の ぐすり や飲み薬のような ふたん すく ほうほう 負担の少ない方法 があるとよい。子 どもを含め、さまざ まな人が気軽に接種 ひと きがる せつしゅ できるよう周知や くふう 工夫をしてほし い。 ほかどういけん けん (他同意見 7件)</p>	<p>びょうき そな せつしゅ 病気に備えて、ワクチンを接種するこ とはとても大切なことです。インフルエ ンザについては、はな す 鼻から吸うだけですむ いた 痛くないワクチンも使えるようになって います。また、こんご 今後インフルエンザ以外 の病気への応用も期待されています。 これから、こ 子どもを含めだれもが きがる せつしゅ 気軽に接種しやすくなるよう、しゅうちほうほう 周知方法 や接種の機会づくりに取り組んでいきま す。</p>	<p>—</p>

<p>28</p>	<p>新型<sup>しんがた</sup>コロナの 流行<sup>りゅうこう</sup>でつらい<sup>けいけん</sup>経験 をし、安心<sup>あんしん</sup>してワ クチン<sup>せつしゅ</sup>接種<sup>う</sup>を受け られる<sup>しく</sup>仕組みの 大切<sup>たいせつ</sup>さを実感<sup>じっかん</sup>し た。 こ 子ども<sup>こ</sup>や高齢<sup>こうれいしや</sup>者 だけでなく、 保護<sup>ほごしや</sup>者<sup>ほじよ</sup>にも補助<sup>ほじよ</sup>が あると家族<sup>かぞくぜんいん</sup>全員<sup>かぞくぜんいん</sup>が 安心<sup>あんしん</sup>できる。 (他同意<sup>ほかどういけん</sup>見<sup>けん</sup> 4件)</p>	<p>区<sup>く</sup>は、より多く<sup>おほ</sup>の人が<sup>ひと</sup>接種<sup>せつしゅ</sup>しやすくな るよう、国<sup>くに</sup>や都<sup>と</sup>と協力<sup>きょうりよく</sup>しながら、支援<sup>しえん</sup> のあり方<sup>かた</sup>について今後<sup>こんご</sup>も検討<sup>けんとう</sup>していきま す。あわせて、区民<sup>くみん</sup>の皆<sup>みな</sup>様が<sup>みなさま</sup>安心<sup>あんしん</sup>してワ クチン<sup>せつしゅ</sup>接種<sup>う</sup>を受けられるよう、わかりや すい情報<sup>じょうほう</sup>提供<sup>ていきょう</sup>にも取り組<sup>と</sup>んでいきま す。</p>	<p>△</p>
<p>29</p>	<p>外国<sup>がいこく</sup>から来た<sup>き</sup>人<sup>ひと</sup> には、ワクチン 接種<sup>せつしゅ</sup>をしてもら う。</p>	<p>外国<sup>がいこく</sup>から来る<sup>く</sup>人<sup>ひと</sup>から感染<sup>かんせん</sup>症<sup>しょう</sup>が広<sup>ひろ</sup>がら ないようにすることはとても大切<sup>たいせつ</sup>です。 日本<sup>にほん</sup>では、入国<sup>にゅうこく</sup>する人<sup>ひと</sup>に対して、体温<sup>たいおん</sup> を測<sup>はか</sup>ったり、具合<sup>ぐあい</sup>を聞<sup>き</sup>いたり、必要<sup>ひつよう</sup>に応<sup>おう</sup> じて検査<sup>けんさ</sup>や隔離<sup>かくり</sup>を行<sup>おこな</sup>う仕組<sup>しく</sup>みがあり、 これが水際<sup>みずぎわ</sup>で感染<sup>かんせん</sup>症<sup>しょう</sup>の拡大<sup>かくだい</sup>を抑<sup>おさ</sup>えるた めの中<sup>ちゅう</sup>心<sup>しん</sup>的<sup>てき</sup>な方法<sup>ほうほう</sup>になっています。 区<sup>く</sup>内<sup>ない</sup>での感染<sup>かんせん</sup>拡大<sup>かくだい</sup>を防<sup>ふ</sup>ぐため、国<sup>くに</sup>など と連携<sup>れんけい</sup>し、公平<sup>こうへい</sup>で人権<sup>じんけん</sup>を大切<sup>たいせつ</sup>にする姿勢<sup>しせい</sup> を基本<sup>きほん</sup>としながら、みんなが安心<sup>あんしん</sup>してく らせるよう、感染<sup>かんせん</sup>症<sup>しょう</sup>対策<sup>たいさく</sup>に取り組<sup>と</sup>んで いきます。</p>	<p>—</p>

30	<p>たいいくかん      体育館などの      かいじょう      会場でワクチン      せつしゅ おこな ばあい      接種を行う場合、      かんせん      かえって感染リス      たか      クが高まらないか      しんぱい      心配である。</p>	<p>たいいくかん おお かいじょう      体育館のような大きな会場でワクチ      ンせつしゅ おこな ばあい      ン接種を行う場合には、区では、      にゅうじょうしゃ せいり ゆうどう かんき      入場者の整理や誘導をしたり、換気や      しょうどく      消毒をしっかりとするなど、安全の工夫      おこな      を行います。こうした工夫をすること      おお かいじょう あんしん      で、大きな会場であっても、安心して      ワクチンが受けられるようにしていきま      す。けいかく      計画にもよりわかりやすく具体的な      かんせんぼうしたいさく きさい ついき      感染防止対策の記載を追記します。</p>	◎
31	<p>あら      新たなワクチン      つく じゅんび      を作る準備をして      おく。</p>	<p>あたら びょうき たい      新しい病気に対してすぐにワクチン      つく      を作れるようにしておくことは、とても      たいせつ くに と だいがく      大切です。国では、都や大学、      けんきゅうしょ やくひんがいしゃ きょうりよく      研究所、薬品会社などと協力しなが      ふだん けんきゅう      ら、普段からワクチンの研究をした      つく じゅんび すす しく つく      り、作るための準備を進める仕組みを作      っています。      く くに と けんきゅう づく      区は、国や都が研究やワクチン作り      すす      を進めてくれていることを踏まえて、で      きたワクチンをくみん みなさま      を区民の皆様にできるだけ      はや とど じゅんび すす      早く届けられるように、準備を進めてい      きます。</p>	○

だい しょう いりょう  
第 8 章 医療

<p>32</p>	<p>感染者が増加した時は、病院での待ち時間の増加や、入院が困難になることが予想される。そのため、対応できる病院を増やすなど誰でもすぐに受診できるようにしてほしい。 (他同意見 4 件)</p>	<p>新型コロナ以降、多くの人にすばやく医療を提供できるよう、前もって都は病院などの医療機関に協力してもらい、「病室を用意する」「熱がある人を診察する」など、感染症発生時にどういう役割分担にするのかを決めて、それに対応できる医療機関を増やしています。 今後も、感染が広がったときに、必要な人ができるだけ早く医療を受けられるよう、体制を整えていきます。</p>	<p>○</p>
<p>33</p>	<p>事前に登録した人などを対象に、カメラで健康観察を実施するなど、リモートで医師の往診や緊急搬送などをすばやく判断できるとよいと思う。</p>	<p>現在、スマートフォンやタブレットを使って、医師にビデオ通話で診察してもらうオンライン診療という方法があります。また、このオンライン診療を受けて、さらに薬剤師さんからもビデオ通話で説明（オンライン服薬指導）を受けると、薬局が薬を家まで届けてくれる仕組みもはじまっています。 国や都などと連携し、様々な仕組みを活用して必要な人に適切な医療を提供できるよう、取り組んでいきます。</p>	<p>—</p>

だい しょう ちりょうやく ちりょうほう  
第9章 治療薬・治療法

<p>34</p>	<p>すぐに効く薬がほしい。 (他同意見 2件)</p>	<p>新しい感染症が発生したときには、国が、効果がある薬をできるだけ早く開発し、多くの人が使えるように取り組みます。区や都は、国に協力しながら、区民の皆様や病院などで働く人に必要な正しい情報をお知らせしていきます。</p>	<p>○</p>
<p>35</p>	<p>感染症から命や健康を守ることがはよいことだと思う。金銭的な理由から薬の購入が難しい人に治療薬を配るといいと思う。</p>	<p>困っている人が必要な治療を受けられるようにすることは、感染症対策において大切な考え方です。 新型コロナウイルスが広がったときには、治療薬や入院の費用を国が払い、ほとんど無料で治療を受けられました。 今後、新型インフルエンザが発生した場合も、国の行動計画では、状況に応じて医療費などの費用を国が支援する対策をとる可能性が示されています。 必要な人が適切な医療が受けられるよう取り組んでいきます。</p>	<p>△</p>
<p>36</p>	<p>病院に行くのがつらいから薬を家にとどけてほしい。</p>	<p>現在、スマートフォンやタブレットを使って、医師にビデオ通話で診察してもらうオンライン診療という方法があります。 このオンライン診療を受けて、さらに薬剤師さんからもビデオ通話で説明(オンライン服薬指導)を受けると、薬局が薬を家まで届けてくれる仕組みもはじまっており、家から出なくても薬を受け取ることができます。 また、オンライン診療から薬の宅配までできるサービスも全国で広がっています。</p>	<p>○</p>

だい 第 10 章 しょう 検査 けんさ			
37	<p>インフルエンザ けんさ いた 検査が痛いのでや かた か り方を変えてほし い。</p>	<p>インフルエンザの検査では、ウイルス おお はな おく ねんまく ひつよう が多い鼻の奥の粘膜をとる必要があるこ となどから、痛みが出ることもありま す。検査でインフルエンザかどうかかわ かると、正しい薬を使えるため早く良 くなります。検査をすることで自分の からだ しっかり まもる 体をしっかり守ることができるで、受 ける際には検査方法などを病院に確認 さい けんさほうほう びょういん かくにん してみてください。</p>	—
だい 第 13 章 しょう くみんせいかつ くみんけいざい あんてい かくほ 区民生活および区民経済の安定の確保			
38	<p>小さい子どもた ちを預けられる おとな しごと と、大人も仕事が できていいと思 いました。 ほかどういけん けん (他同意見 2件)</p>	<p>感染症が広がると、子どもへの感染 かんせんしょう ひろ こ かんせん が心配でお父さんやお母さんが仕事に行 しんぱい どう かあ しごと い きづらくなることがあります。そのよう な時でも安心して働いたり生活したり とき あんしん はたら せいかつ できるようにするため、子どもを預けら れる場所の確保に取り組んでいきます。</p>	○
39	<p>感染症流行 かんせんしょうりゅうこう 時、大人の活動を じ おとな かつどう と止めないことがい とおも いと思った。</p>	<p>区は、新型コロナウイルスの時には、大人の かつどう ささき ほいくえん し 活動を支えるため、保育園などを閉める ことなく続けました。 かんせんしょう き き お 感染症危機が起きたときは、これま でのコロナ対応を踏まえて、感染拡大 たいおう ふ かんせんかくだい 防止と社会経済活動のバランスを考え ぼうし しゃかいけいざいかつどう かんが た対策を行っていきます。 たいさく おこな また、区は、会社などに対して、オン く、 かいしゃ たい</p>	○

		<p>ラインを組み合わせた会議やテレワーク、時差出勤など、人と人が接触する機会を少なくできる準備を考慮しておくようにお願いをします。</p>	
40	<p>病気にかかったとき、一人で暮らしている人でも安心して過ごせるように、食べ物をとどけてもらったのはとてもありがたいと思いました。病気がうつらないようにしながら生活を支えてもらえる取組に賛成です。 (他同意見 3件)</p>	<p>新型コロナウイルスが発生した時に、区は独自に、必要な人に食べ物を届けました。また、お医者さんと協力して体調を確認したり、薬を届けられる仕組みもつくりました。</p> <p>これからも、自宅で療養しなければならぬ感染症が起きた場合、病気の人が一人で困ってしまうことがないように、区は支援していきます。</p>	○
41	<p>感染した人など困っている人にお金を送るなどの支援がとても良いと思つた。 (他同意見 1件)</p>	<p>区は、新型コロナウイルスの対応では、影響を受けた会社や生活が苦しい人に対して、相談窓口の設置やお金を支給するなどの支援を行いました。また、自宅で療養する感染者の方には、区は独自に必要な人に食べ物を届けたり、お医者さんと協力して体調を確認し、薬を届けられる仕組みもつくりました。</p> <p>新たな感染症が発生した時には、今後も必要な様々な支援をしていきます。</p>	○

42	<p>区がマスク・消毒液・検査キット・経口飲料水などを十分に備蓄し、感染症流行時に区民へ配布してほしい。また、学校などで使用できるようマスクの配布を増やしてほしい。 (他同意見 3件)</p>	<p>区や都では、感染症対策として必要な物資や食料品などを備蓄していますが、全ての区民にマスクや消毒液などを十分に配布することは難しいです。そのため、区では、普段から区民一人ひとりが家庭や会社などで必要な物資を用意していただけるよう協力をお願いしています。今後も区民の皆様や事業者の方などに日頃からの備えの必要性について啓発していきます。</p>	—
43	<p>病気になって、学校に行けなくなった時、タブレットだけじゃわからないこともあるから、問題の答えと解説などがきけるとよいと思う。</p>	<p>各学校では、登校できない児童・生徒のために、タブレットを使って課題の配付やオンライン授業をしています。長い間、登校できない時も、勉強の内容がわかるように、これからも各学校と相談しながら色々な工夫をしていきます。</p>	○
44	<p>ポケットWi-Fiを全員に配って、タブレットを使いやすくしてほしい。</p>	<p>令和8年3月に新しくなる児童・生徒用タブレットでは、ポケットWi-Fiを利用している時と同じように、どこでも通信ができるようになります。</p>	□

た その他			
45	<p>困っている人を助けるのは大事だと思っし、緊急事態宣言で、働けなくなっし、た人がいることも知った。他にもインフルエンザにすることがありそうなので、調べてみたい。 (他同意見 4件)</p>	<p>感染症対策は、区民の皆様一人ひとりの協力が大切です。「困っている人を助けることが大切」という思いに共感してくださったことに感謝します。インフルエンザなどの感染症について、もっと知ろうとしていただいたことを心強く思います。区ホームページの防災・安全安心情報には、区の新型コロナが発生した時の対応をまとめた「練馬区モデルの展開」を掲載しています。この他に、インターネットで「東京都コロナ振り返り」で検索してみてください。これまでの感染症の出来事をまとめた東京都の資料もありますので、ぜひご覧ください。</p>	—
46	<p>国が対策するほど、インフルエンザにかかると大変だということがわかった。子ども達だけでは考えられない。 (他同意見 2件)</p>	<p>感染症危機は、社会全体で考える必要があるため、子どもの意見を聞きながら、計画を作りたいと思います。区では、国や都、医療機関などと協力し、新型コロナで対応した経験をもとに、区民の皆様命や健康を守るために、すばやく着実に感染拡大防止の対策を実施できるよう行動計画を策定します。</p>	○
47	<p>森林の伐採などでウイルスが発生する場合があるから、森林や動植物の保護を進めて、森林・動植物とも共存できる社会を目指したほうがいいと思う。</p>	<p>国では、人や動物が共通して感染することもあるため、動物の健康や森林および植物の保護など、環境へ配慮しながら、対策を進めることとしています。区もそうした視点をもって協力していきます。</p>	—

48	<p>インフルエンザ  <small>りゅうこう</small>      がこんなに流行す  <small>ふしぎ</small>      るのが不思議だ。</p>	<p><small>あら</small> <small>かんせんしょう</small> <small>ほっせい</small> <small>とき</small> <small>ひとびと</small>      新たな感染症が発生した時、人々に  <small>めんえき</small> <small>だんかい</small> <small>かんせん</small> <small>きゅうそく</small>      免疫がない段階では、感染が急速に  <small>かくだい</small> <small>く</small> <small>くに</small>      拡大するおそれがあります。区では、国  <small>と</small> <small>いりょうきかん</small> <small>きょうりょく</small> <small>しんがた</small>      や都、医療機関などと協力し、新型コ  <small>たいおう</small> <small>けいけん</small>      ロナで対応した経験をもとに、すばやく  <small>ちやくじつ</small> <small>かんせんかくだいぼうし</small> <small>たいさく</small> <small>じっし</small>      着実に感染拡大防止の対策を実施でき  <small>こうどうけいかく</small> <small>さくてい</small>      るよう行動計画を策定します。</p>	—
----	--	--	---